

オープン無線プラットフォーム・ラボ

- Open Wireless Broadband Platform Laboratory

開設: 2007年5月16日
 代表者: 村井 純
 関連Web Site: <http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/lab/owbp.html>
 連絡先: 連絡先: 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス村井研究室内 ラボラトリ事務局
 Tel: 0466-49-3529 E-mail: junsec@sfc.wide.ad.jp

● 構成メンバー

村井 純	環境情報学部教授	ラボラトリリーダー
中村 修	環境情報学部教授	サブリーダー: オープンプラットフォームのための認証技術の検証
國領 二郎	総合政策学部教授	研究員: オープン無線プラットフォームに向けたガバナンス担当
三次 仁	環境情報学部教授	研究員: オープンプラットフォームのための無線技術の開発研究
梅嶋 真樹	政策・メディア研究科特任准教授	研究員: オープン無線プラットフォームに向けた分析調査
小椋山 賢二	名誉教授	研究員: 新たな通信サービスの検討

● 目的

インターネットは、オープン通信プラットフォームとして世界中に普及し様々なサービスの土台としての役割を担っている。一方で、無線を用いたネットワークは、無線LANなどの局所的な無線サービスはインターネットで普及しているが、広域無線サービスである携帯電話3GやPHSネットワークなどは、サービスと通信が切り離されていくクロズドなネットワーク形態を維持している。今日、広域無線LANなどの新しい無線技術が登場し、インターネットにそれらが繋がれたとき自由に何時でも何処でも使えるオープン無線通信プラットフォームが期待される。

このような背景を踏まえ、ラボラトリでは、インターネットと無線ネットワークの融合を目指し、1) 移動体通信技術とネットワークデザインの検証と普及 2) オープンプラットフォームのための認証技術 3) 異なる無線間での協調的ハンドオーバー技術の実現 4) オープン無線プラットフォームに向けた法律、制度、ルール、周波数割当の整備やガバナンス 5) 新たな通信サービス、災害や緊急時への応用など新しい無線ネットワークの利用形態、ビジネスモデルについて技術的側面と社会的側面から研究、開発、提言を行う。

● 研究活動計画の概要

1. 移動体通信技術の検証: IP移動体通信プロトコル技術の提案、検証およびオープン無線プラットフォームのネットワークデザインを検討する
2. オープンプラットフォームのための認証技術の検証: 無線ネットワークでMVNO実現のための認証手法、及びインターネットにおけるオープンスタンダード認証技術との連携手法の検討を行う
3. 異無線間での協調的ハンドオーバー技術の検証: 無線間のシームレスハンドオーバー技術の検証と異無線間での統一的ハンドオーバー技術の検討を行う
4. 新たな通信サービスの検討: オープン無線プラットフォームを生かした、放送型サービス、地域型サービスや災害時緊急時の利用など新しい有用シナリオの検討を行う
5. オープン無線プラットフォームに向けたガバナンスの検討: 法律、制度、ルール、周波数割当の整備の検討、及び必要な戦略と政策の提言

[2017年11月現在]